

平成29年1月30日

## 原料費調整制度に基づく平成29年3月検針分のガス料金について

(群馬南地区)

東京ガス株式会社  
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、平成29年3月検針分の単位料金を、平成29年2月検針分に比べ1m<sup>3</sup>(45MJ)につき0.84円(消費税込)上方に調整いたします。

今回の調整は、平成28年10月～平成28年12月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、1か月に39m<sup>3</sup>のガスをお使いになる標準家庭で平成29年2月検針分と比較して、33円(消費税込)ガス料金が上がります。

平成29年3月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

### 1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

(消費税込)

| 1ヵ月のご使用量                      | 料金表A<br>0～22m <sup>3</sup> | 料金表B<br>23～223m <sup>3</sup> | 料金表C<br>224m <sup>3</sup> ～ |
|-------------------------------|----------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| 基本料金<br>(円/月)                 | 745.20                     | 907.20                       | 2,527.20                    |
| 調整単位料金<br>(円/m <sup>3</sup> ) | 113.57                     | 106.33                       | 99.09                       |
| (参考)<br>2月<br>調整単位料金          | 112.73                     | 105.49                       | 98.25                       |

### 2. 標準家庭における影響

(消費税込)

| 1ヵ月のご使用量<br>39m <sup>3</sup> (45MJ/m <sup>3</sup> ) | 平成29年 2月 | 平成29年 3月 | 増減 |
|---|----------|----------|----|
| 適用料金(円/月)   | 5,021    | 5,054    | 33 |

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(平成18年度～平成22年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から54円(消費税込)を抜いた金額となります。

### 3. 原料価格の変動

(円/t)

|             | 平成28年9月～平成28年11月 の平均<br>(2月検針分) | 平成28年10月～平成28年12月 の平均<br>(3月検針分) | 対前期<br>差額 |
|-------------|---------------------------------|----------------------------------|-----------|
| 平均原料価格(a)   | 18,490                          | 19,460                           | 970       |
| LNG         | 38,680                          | 40,560                           | 1,880     |
| LPG         | 38,230                          | 42,010                           | 3,780     |
| 基準平均原料価格(b) | 27,350                          |                                  |           |
| 差額(a-b)     | ▲ 8,800                         | ▲ 7,800                          | 1,000     |

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

### 4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} &= 40,560 \times 0.4414 \\ + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} &= 42,010 \times 0.0371 \end{aligned}$$

$$= 19,461.75$$

↓(10円未満四捨五入)

$$19,460 \text{ 円/t}$$

■ 原料価格変動額の算定

$$19,460 \text{ 円/t} - 27,350 \text{ 円/t} = \begin{matrix} \boxed{\text{▲ 7,890}} \\ \downarrow(100円未満切捨て) \\ \boxed{\text{▲ 7,800}} \end{matrix} \text{ 円/t}$$

■ 単位料金調整額(m<sup>3</sup>当たり調整額)の算定

$$\begin{aligned} \text{単位料金調整額} &= \boxed{\text{▲ 7,800}} \text{ 円} / 100 \text{ 円} \times 0.08424^{*1} \\ &= \boxed{\text{▲ 6.58}} \text{ 円}^{*2} \end{aligned}$$

\*1 変動額100円につき単位料金を0.08424(0.078×1.08)円調整します。

\*2 調整額がプラスの時は少数点第3位を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位を切り上げます。

<標準家庭における影響>

(消費税込)

| 1ヵ月のご使用量<br>39m <sup>3</sup> (45MJ/m <sup>3</sup> )<br>適用料金(円/月) | 平成29年 2月 | 平成29年 3月 | 増減 |
|--|----------|----------|----|
|  | 5,021    | 5,054    | 33 |

\* 標準家庭料金の計算方法

群馬南地区

本体料金(税込) = 基本料金(907.20円)

+ 調整単位料金(112.91円)

+  $\boxed{\text{▲ 6.58}}$  (円) × 39m<sup>3</sup>

料金改定時の基準単位料金(税込) ↑

↑ 単位料金調整額(税込)

・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m<sup>3</sup>あたりの単価)を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格(27,350円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m<sup>3</sup>あたり0.08424円(0.078円に1.08(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が43,760円(上限値)を超えた場合には、「平均原料価格」は43,760円としてガス料金の調整を行います。